

緑からもらったものを緑にかえそう

# 緑とともに

Toyota・Kamo  
豊田・加茂  
菜の花プロジェクト

2013年 9月発行

機関紙 第59号

## はじめに

実り多き秋がやってきます

今年も無事に新油ができます。昨年より30%アップの収穫高になりました。その背景には草取りにも気を付け、また皆様のプロジェクトへの活動のご協力により、任せて頂ける土地も増えたからです。ありがとうございました。ですがまだまだ、栽培条件が整わず収穫量がおいついていない土地もありました。これから少しでも収穫量を増やす様に頑張ります。



## 特集

### 国産油

今年も新油の搾油が無事スタートし新しい油が出来上がるのを待つだけとなりました。新油のお披露目は9月末イベントでとなります。是非、お買い求め下さい。さて、今回の特集は、国産油です。

#### 各地の国産油の材料とは

国内産の食物油は、油の含有量の多い「油糧作物」であれば搾油することができます。以下の材料が、国内における主な「油糧作物」とその産地となります。下記種類の国内産の油はどれも希少なものです。まだまだ、国内産の油の消費量は0.04%にすぎません。

-  菜の花
-  ひまわり
-  椿
-  エゴマ
-  大豆
-  オリーブ



季刊地域 spring 2013 参考

これは、一部でしかありません。今も、増え続けています。また、油を作るだけでなく、油を使った郷土料理を味わえるレストランやBDF生産所などの施設もできているようです。

同じ原料で油を生産したとしても、同じ味の油ができないのをご存じですか？色や香、量に至るまで、どれ一つと同じものはありません。それに比べ外国から油の原料が沢山輸入され作られるサラダ油は、どこで買っても同じ味です。国産油は、その土地柄郷土料理とうまくマッチングしたりと、特色もあり自分なりの美味しい食べ方を追求することもできます。ところが課題として、どこで購入できるかなど、知られていないのが実状ですが、国産油の特徴を生かし積極的に国産の油をいろいろな料理に使ってみてはいかがでしょうか。



#### NPO法人豊田・加茂菜の花プロジェクトが考える事とは...

私達が販売促進を行っている“なのはな油”は、極力雑味を抑え、どんな料理でも何にでも使えるように作った自信作です。なので、搾ったままの油と比べ、コシが強く、クセがなく美味しい油となるのです。貴重な国内産の油の良い所を全て備えた“なのはな油”を食べないのは勿体ない！！是非、食べて健康を維持し楽しく生活しましょう。

また、当プロジェクトでは、“なのはな商品”を使った美味しい料理を探しています。また、料理以外でも、意外な使い方があれば教えて頂きたいと考えています。よろしくお願いいたします。

### なのはな油



#### はなおじさんのひとりごと

“耕作放棄地解消直後の土地”では、



私達は耕作放棄地を解消し菜の花を育て実り多き土地にしたいと考えています。しかし長年放置した土地は雑草・雑木が生い茂り土地がやせているのです。しかも長年耕作を放棄してしまった土地には雑草の種がたくさん落ちています。すぐには耕作に適した土地にならないのです。その土地であっても我々としてはできる限り、農薬等を使う管理はしません。菜の花を育てている土地が景観としては雑草だらけの土地に見えても、その中で、できる限りの管理をして、国内産の菜種油“なのはな油”を作っているのです。

各コーナー・イベント情報のお問い合わせ先

Toyota・Kamo  
NPO法人 豊田・加茂  
菜の花プロジェクト  
事務局 梅谷

〒471-0051 豊田市花丘町1丁目17番地  
TEL 0565-41-4837 FAX 0565-34-3566  
URL <http://www.hanaoka.biz/>

# イベント報告

7月9日(火)

## 第2回猿投台中学校 環境教育

昨年より、育ててきた菜の花を使い、とうみを使って、種の選別、搾油体験を行いました。また廃油を使い、ろうそく作りも行いました。生徒達は皆、興味深く取り組んでいました。



とうみの説明を真剣に聞いています。



ろうそく作りの様子です。

7月25日(木)

## 旭地域営農協議会 視察研修会



研修会の様子です。

旭地区の集落営農を学ぶ研修会に当プロジェクトの会長が講師として参加し、菜の花栽培やプロジェクトの活動についての説明をしました。旭地区の方との交流も深める事ができ、充実した時間を過ごすことができました。

8月3日(土)・4日(日)

## 第10回菜の花学会・ 楽会 in 東近江



各地の菜種オイルを味わいました。

すべての子どもたちの笑顔のために ワクワクを伝えたい

嘉田 滋賀県知事が「3.11から学ぶべきこと」と題し基調講演を行い、近い水、近い食、そして近いエネルギーの活用に向けてのライフスタイルの転換がいかに重要か、これからの私達の生活にとって有意義なお話しをされました。

また各地の菜種オイルをもっとたくさんの方に知ってもらえるような体制づくりを目指し、交流会が行われました。



陳列はこんな感じです。

7月19日(金)

## 2013年度 織りいぶ & ORiBU 夏の作品展

社会福祉法人オンリーワンORiBU、NPO法人スモールワン主催のイベントに出店しました。さをり織りの作品が沢山展示されているカフェ「mateini」のお客様に、なのはな商品の試食をして頂きながら、プロジェクトの活動についての説明を聞いて頂く事ができました。

## 参加募集

◎9/7(土) ふれあいバザール

時間: 9:00~11:30  
場所: みよし市緑と花のセンター「さんさんの郷」  
ふれあい広場

「地産地消」運動の一環として開催される「ふれあいフェスタ」における、「ふれあいバザール」に出店します。

◎9/28(土)・29(日) とよた産業フェスタ2013

時間: 10:00~16:00  
場所: 豊田スタジアム  
当プロジェクトでは、新油の販売をします。また、菜の花ドーナツの提供や廃油石けんの販売を行います。皆様のお越しをお待ちしています。

◎11/3(日) 産業フェスタみよし2013

時間: 9:30~15:00  
場所: みよし市緑と花のセンター「さんさんの郷」

◎11/3(日) 石野地区ふれあいまつり

場所: 石野交流館

## お知らせ

### コラボイベント開催

◎9/3(火)~16(月) 地産地消ハウス ホガラカ

◎9/16(月)~28(土) Cafe MUSU.B

期間中、なのはな商品を使った料理を楽しむ事ができます。詳しくは別途チラシをご覧ください。

◎ 9/3(火) 第3回環境教育  
10/8(火) 猿投台中学校にて 第4回環境教育  
10/29(火) 第5回環境教育

9/3は、廃油から石けんを作ったり、3Rについての講義を行います。

10/8は、BDFで動かしている、トラクターと綱引きや、菜の花の種まきを予定しています。

10/29は、空き缶を使ったランタン作りを行う予定です。お手伝い頂ける方は、下記事務局までご連絡下さい。

◎11/14(木)・15(金)・16(土) あいちの農林水産フェア

時間: 10:00~19:00  
場所: 名古屋 丸栄 8階 大催事場

## 申し込み方法

・ハガキ  
・FAX  
・E-mail  
のいずれかで

①氏名  
②郵便番号  
③住所  
④電話番号  
を記入して右記までお申し込み下さい。



〒471-0051 豊田市花丘町1丁目17番地  
TEL 0565-41-4837 FAX 0565-34-3566  
E-mail: nanohana@hanaoka.biz

お申し込みはこちら  
Toyota Kamo  
NPO法人 豊田・加茂  
菜の花プロジェクト  
事務局 梅谷

ご愛読ありがとうございます。  
次号は、(2013年 11月発行)  
「地元消費者に愛される  
農産物を作ろう」  
です。お楽しみに!!

